

# 研究計画書

【日頃の実践の課題】

第 回 月 日

【子どもの実態】

【目指す子ども像】★

【時代や社会の要請】

「目指す子ども像に迫るためには、●……●のようなことをすればよい。そのためには、◆……◆のような手だてを使えばよい。子どもの変容は▼……▼によって捉えていけば把握することができる。」

【指導観】

●どのような指導・活動が有効なのか。どのような指導計画・活動計画・単元構想を見通すのか●

【目指す子ども像に迫るための指導】

【領域】【単元名】【教材】■

【検証方法】▼検証資料の収集▼

【具体的な手だて】◆どのような工夫(手だてや支援)を講じるのか◆